

高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の確認 北海道で初発（今季20例目）

○岩手県や北海道では野鳥からウイルスが継続して確認されています。渡り鳥の北帰行が終わる5月中旬ごろまでは注意が必要です。

◇発生概要

- 1 発生確認年月日 令和4年4月16日（土）
- 2 発生場所及び飼養状況
所在地：北海道白老町
飼養状況：採卵鶏（約52万羽）
- 3 経緯
4月15日（金）死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、簡易検査を実施し陽性
4月16日（土）遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認



死亡の増加はなくとも、産卵率低下、食欲不振、元気消失等の普段とは異なる症状を認める場合は、家畜保健衛生所へ御連絡ください。

農場周囲にもウイルスが常に存在していると想定し、飼養家さんの確認と予防対策の点検・確認を再度実施してください。

防鳥ネットの管理について

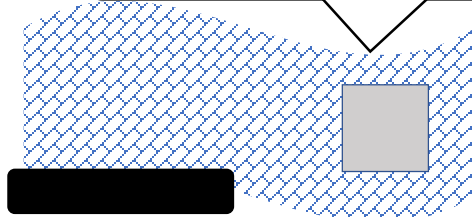
防鳥ネットはきちんと設置できていますか。設置して終わりではなく、点検、修繕をしっかりとしましょう。農林水産省のHPも参考にしましょう。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/hpai_taisaku.html

引っ張りすぎない
たるみすぎない
程よい強さで

破れている場所は
すぐに補修

ネットを垂らしている場合は、
チェーンなどの重しをしましょう



県北家畜保健衛生所 那須塩原市千本松800-3

TEL 0287-36-0314 / FAX 0287-37-4825